

「験震時報」投稿上の注意事項

- (1) 報文は原稿用紙に横がきではっきりと書き、当用漢字新かなづかいを用いる。句読点・, は1字分あけ、数字はアラビア数字とする。記号  $a$  と  $\alpha$  と  $d$ ,  $C$  と  $c$ ,  $e$  と  $l$  と  $\rho$ ,  $0$  と  $O$  と  $\sigma$ ,  $r$  と  $\gamma$ ,  $S$  と  $s$ ,  $W$  と  $w$ ,  $Z$  と  $z$  と  $2$ , などはまぎらわしいから特にはっきり書く。
- (2) 論文の長さは当分のあいだ付図を含めて刷上がり8ページ以内、ただし、付図は刷上がり合計3ページ以内とする。
- (3) 報文が論文の場合、その初めに欧文の題目および内容要約をつけ、図、写真および表の説明は欧文とする。報文が報告の場合は欧文の題目をつける。
- (4) 付図は濃いすみで、ていねいに描き、むだな余白のないようにする。図中の文字は縮めても、小さくなりすぎないように大きめに書く。注や説明はわく外に活字にくめるようにする。
- (5) 写真は鮮明なもので、変色やよごれのないものにかぎる。
- (6) 欧文題目、内容要約および原稿中の欧文は活字体でわかりやすくかく。欧文題目、内容要約は、できればタイプライターで打つ。

昭和34年12月15日印刷

昭和34年12月21日発行

編集兼  
発行人 気 象 庁

東京都千代田区大手町1ノ7

印刷人 田 中 春 美

東京都台東区東黒門町3

印刷所 合資  
会社 田 中 幸 和 堂

東京都台東区東黒門町3